

昨年の総会・
懇親会の様子
を御覧下さい！



7月 5日(土)午後2時 OB・OG 感謝デー

皆様の御支援に感謝申し上げ、7月5日(土)午後2時～4時、
高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

● 体育館が使用できないため、雨天中止とさせていただきます。

総会・懇親会は7月5日午後5時半

『百楽』で開催します。 上本町駅 北へ徒歩1分
天王寺区上本町6-2-31
TEL. 06-6768-2221

懇親会費7,000円 は会場受付にて現金でお支払いください。
但し、卒業後4年間：高63,64期は4,000円、高65,66期は
2,000円で優待します。 出席を FAX：06-6213-4903 ・
EメールにてOB・OG会事務局宛にご連絡ください。

多数のご参加をお待ち申し上げております。

全 OB・OG (約 670 名)の皆様に会報を発送するのは、
印刷・通信費の負担が重く、前号までに止める議事を
第 10 回総会にて承認頂きました。本号より、 発送
費の不要な WEB 掲載を主とし、希望者のみに郵送致
しております。ご意見など、OB・OG 会の事務局：
kozu.handball.ob.og@gmail.com ホームページ
http://kozu-hand.blogspot.com
及び ホームページ http://kozu.handball.iinaa.net/
Facebook http://www.facebook.com/KozuHandball をご覧
ください。10 周年記念企画としてクラブ誌を編集致
したく、お写真など情報を事務局へお寄せください。

会費納入・寄付金
送金のお願い！

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。
また、現役補助費(チーム登録料等)を充実させるには寄付
金も必要ですので、御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2014年度会費 3,000円と
寄付金の納入を銀行振込でお願い致します

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金No.3999316
口座名「高津高校ハンドボール部OB・OG会 会長 川上貴司」

【事務局】〒542-0074 大阪市中央区千日前1-4-8 千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内 川上貴司 Tel.06-6213-1901 Fax.06-6213-4903
E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com

2013年度 決算

2013/04/01～2014/03/31

繰越金収入	2012年度 繰越金	159,370
年会費収入	3,000×48名	144,000
寄付金収入		133,000
総会費収入	7,000×37名	259,000
総会支出	会場払	▲195,000
現役補助費	チーム登録料、ボール等	▲60,480
会報通信費	印刷・発送費等	▲127,126
雑費	印刷用紙、振込手数料他	▲840
雑収入	銀行利息	31
差引残高	次年度繰越	311,955

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

【会長】 川上貴司 (高19期)	【選任幹事】 渡邊斎頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 安田永子 (高24期) 玉井牧子 (高28期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 村口紀子 (高32期) 藤本一典 (高32期) 高岡政男 (高33期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)	【特別会員】 (旧職員) 岡本 昭 今中啓旦 太田正人 門田昌司 前田美穂 大前雅嗣
【副会長】 片岡純夫 (高23期) 筒井享子 (高24期) 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期)	【財務幹事】 木村圭子 (高25期) 林 正則 (高33期) 古川直樹 (高33期)	【事務局】 川上貴司
【顧問】 橋本靖雄 (高3期) 福家清美 (高9期)	【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期)	【会報編集】 中野元博 村口紀子 藤本一典



第 10 号

発行日 2014年5月20日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第10回 OB・OG会 総会 開催される



総会・懇親会 スナップ写真集

2013年7月6日 於 百楽 本店



2014年の 第11回総会と懇親会は、7月5日(土)夕方5時半～
百楽 本店 (近鉄 大阪上本町駅 北へ徒歩1分) で開催します。

高津高校ハンドボール部のクラブ史概説

高津高校における男子ハンドボール部の歴史は、昭和 23 年（1948 年）新制高等学校の発足とともに始まりました。それ以前、旧制中学の男子校時代、当時の校長 羽生 隆 先生教育方針により、対外試合をする運動部は全く無く、その代わりに、バスケットボール、バレーボール、フットボール（サッカー）、テニス、送球（ハンドボール）という 5 種目のいずれかに全校生徒が属し、週 1 回、所定の曜日の放課後に運動して、11 月初めで開催される「校内球技大会」の 3 日間に及ぶトーナメント制クラス対抗試合の順位による得点の 5 種目合計で総合優勝を争った様子が、中学 22 期小西英博 先輩の「部誌（昭和 36 年 11 月高津ハンドボールクラブの大阪総合選手権 初優勝記念号）」への寄稿で詳しく紹介されています。昭和 14 年頃には、大阪府立の旧制中学校のほとんどが運動部を持ち、対外試合をして全国大会等にも出場していた中であって、高津中学の校内球技大会方式は特殊でしたが、ともすると偏りがちな運動に全員が選手として参加するというこの方法は、それ自体一つの教育的見識を表すものとして相当高く評価されていたそうです。

昭和 23 年の学制改革により、清水谷高校（旧制清水谷高等女学校）と生徒・教職員を交流して男女共学の新制高等学校が発足し、高津高校でも対外試合をする運動部が創部され、翌年 8 月には野球部が第 31 回全国高等学校野球選手権大会に大阪府代表として出場しました。男子ハンドボールの創部に関しては、高校 3 期の先輩達（敬称略：橋本靖雄、上田眞生、鳥野栄一、乙田善弘、菊山 清、塩谷 修、白江 保、田口貞夫、津田 巍、徳山順一、轟 正行、中田 健、長岡 徹、西口正孝、原田英樹、菱川泰夫、和田 健、高橋政浩）が 2 年生になられた昭和 23 年、当時 3 年生の部員は一人もいない中、2 年生の同志が集まって自分達の手でクラブを創り上げ、キャプテン 橋本靖雄先輩を中心にがっちりとチームワークを固めて活動されていたと、田中さや先生が「部誌」巻頭に「伝統」というタイトルで紹介されています。田中先生曰く、当時の優等生・模範生で占められたクラブで、上級生から下級生へ、先輩から後輩へと指導する伝統が、創部以来、受け継がれていったそうです。当時は、昭和 23 年の学制改革で高津の体育科の先生方の転任が相次ぎ、また、創部時の顧問 岡本 昭 先生は家業の会社社長でお忙しく、昭和 24 年に 村田弘先生と田中さや先生が赴任されて後任の顧問となりました。しかし、村田先生は 1 年で転勤され、その後 35 年間、三国丘高校に転任されてハンドボール部顧問として多くの名選手を育て、昭和 31,34,40,42 年とインターハイに出場する強豪チームを率いられました。村田弘先生ご自身も、全日本チームの選手として活躍された後、昭和 42 年に全日本男子チームの監督に就かれ、それからは第 6 回世界選手権大会（スウェーデン）、第 7 回世界選手権大会（フランス）、そして昭和 47 年のミュンヘン・オリンピックに出場され、その後、大阪ハンドボール協会の常任理事に就任されましたが、2013 年 11 月 11 日、享年 90 歳でご逝去されました。村田先生という実にすばらしいハンドボールの指導者に恵まれる機会が昭和 24 年度の 1 年間だけありましたが、高津に勤務されていた当時はお忙しくて、つきっきりのコーチなど望めない状況であったと田中さや先生が「部誌」に書かれています。創部当時、顧問の岡本先生の関係で大阪歯科大学の方々にコーチして頂いたそうですが、高校 3 期の橋本靖雄先輩・佐々木蔵雄先輩達が OB となられると、寸暇を惜しんで現役の指導に来られ、その後、5 期 額田晃作先輩・上田孝先輩・渡辺巖先輩、6 期 山中将司先輩と受け継がれ、長く OB が現役をコーチするというクラブの伝統が築かれていきました。そして、1954 年(昭和 29 年)、7 期の榎本秀一郎先輩・津田祐司先輩・廣田淳二先輩・松田一彦先輩達が 3 年生の時に、8 期 西田武彦先輩、9 期 佐竹貞夫先輩・辻本陽之助先輩達のメンバーで、大阪府大会においてベスト 4 に入りました。また、社会人チームとして高津 OB の大学生と社会人の混合メンバーによる「高津クラブ」が結成されました。

一方、女子ハンドボール部は、昭和 30 年（1955 年）4 月に当時の 3 年生(高校 8 期) 徳美(現姓：箕浦)恭子先輩、北野(豊田)喬代先輩、藤原(伊藤)聆子先輩、2 年生(高校 9 期) 部長の菊井(福家)清美先輩、俊足の吉川(高本)登志子先輩、長身の石丸(浅田)幹子先輩、剛腕の北島(榊取)恭子先輩によって創部され、直に 1 年生(高校 10 期)の荻原(浅田)節子・岩瀬美弥子・波木(木田)康子・山口(長屋)幸代・前川(野中)寿々子らの先輩達が入部されました。当時は 11 人制で、1.菊井、2.平塚、3.波木、4.山口、5.岩瀬、6.松尾、7.荻原、8.吉川、9.石丸、10.森、11.田中のレギュラーメンバーで試合に臨み、当初は連戦連敗でしたが高校 5 期の額田晃作先輩のコーチで試合を重ねる度に強くなって、昭和 31 年 2 月の冬季 7 人制大阪室内大会初出場で 3 位入賞と健闘されました。当時の様子について顧問の田中さや先生が「女子ハンドボール部の誕生」の題目で「部誌」に詳しく紹介されており、2009 年発行の OB・OG 会報 第 5 号に「女子ハンドボール 創部の思い出!!!」にも詳述されています。



昭和 30 年(1955 年)卒(高校 7 期)松田一彦先輩の 1954 年大阪府大会ベスト 4 の思い出アルバムより

男子ハンドボール部は、OB の物心両面における支援と、10 期 中江義雄先輩・服部勝一先輩・西正嗣先輩他、多数の諸先輩の熱心な指導で強化され、ついに昭和 34 年 3 月、「大阪府新人大会」で始めて優勝の栄冠に輝き、5 月には「大阪府民体育祭大会」で 2 回目の優勝を果たしました。続いて近畿大会では第 3 位、全日本選手権大阪大会では第 2 位、大阪室内大会は第 3 位と、11 期 石崎寿夫先輩、12 期 浅野和郎先輩・西原康夫先輩、13 期 林毅先輩・井口邦男先輩・斎藤英俊先輩・増田健先輩・渡邊齊顕先輩他のメンバーで黄金期を創りあげられました。この詳細は、高校 13 期 渡邊齊顕先輩が 2010 年発行の OB・OG 会報 第 6 号「☆高津ハンドボール部アーカイブス☆」で紹介されています。それぞれ進学された大学のハンドボール部でも活躍され、関西学生リーグで高津 OB が各大学に分かれて対抗戦をしていたという「高津の黄金時代」でした。そして、高津 OB の大学生と社会人の混合チームによる「高津クラブ」が、昭和 36 年には大阪総合選手権を勝ち抜いて初優勝し、荣誉ある大阪代表となって、昭和 37 年に山口県下松市で開催された第 14 回全日本ハンドボール大会（高松宮杯）に出場されました。男子 25 チーム、女子 19 チームの全国代表約 600 人が参加して開催され、高津クラブは第 1 回戦に法政大学と試合しましたが、勝利の女神には見放されました。この初優勝を記念して「部誌」が昭和 37 年 1 月に発行されました。この詳細は、高校 15 期 岩瀬政治先輩が 2011 年発行の OB・OG 会報 第 7 号「☆ 高校ハンドボール生活の果実 ☆」にて紹介されています。

その後も、高校 12 期 浅野和郎先輩、15 期 橋本泰彦先輩、17 期 佐藤健二先輩、18 期 久岡敏博先輩、19 期 川上貴司先輩他、優秀な選手を輩出してきました。2006 年には、OB・OG 会報第 3 号に掲載のとおり、49 期 平澤あず先生（此花総合高校）が「のじぎく兵庫国体」に国体大阪選抜選手として出場されました。

2013 年までは、30 期 太田寛人先生が母校の監督として献身努力され、優秀な選手を育てられました。特に、女子部の飛躍が図られて 2008 年には、めでたく『第 51 回近畿高等学校ハンドボール選手権大会』への出場が果たされました。この時の活躍で、61 期 射手矢なづき選手が、大阪府教育委員会賞と年間優秀選手を受賞し、大阪教育大に進学後は 2012 年のインカレ優勝に貢献するなど、今後も活躍が期待されます。

現在、ハンドボール部の顧問は、社会科の大前雅嗣先生と前田美穂先生です。大前雅嗣先生は母校 1975 年(高校 27 期)卒業生であり、前田美穂先生は三国丘高校時代にハンドボール部に所属され、昭和 24 年度母校顧問の村田弘先生に指導を受けられたというご縁で結ばれています。高校のクラブ顧問はボランティア業務にも関わらず、責任を負いますのでご苦勞をお掛けしています。創部当時から長く続いた「OB が現役をコーチする」という伝統が復活できれば良いのですが、現役を指導するには大学や社会人チームでの選手や体育教員でなければ難しい状況であり、OB・OG 会としては、チーム登録料や強化合宿費用の補助など財政面の支援で現役の活躍をサポートしてクラブの継続を見守りたいと思います。

副会長 中野元博（高校 26 期）